

# くまひ

No.2

2021

私たちは、関わった方々から、  
「熊本に熊本泌尿器科病院があって良かった」  
と、満足・信頼して頂くために存在します

## 特集 前立腺肥大治療手術 経尿道的レーザー蒸散術 (CVP)

*Kumamoto Urological Hospital  
explains about  
Contact Laser Vaporization of the Prostate*



# 特集

## 当院における前立腺肥大治療手術

### － 経尿道的レーザー蒸散術 (CVP) －

泌尿器科診療部長 狩野 武洋

男性特有の臓器である前立腺は、膀胱のすぐ下で尿道を取り囲んでいます。その前立腺が加齢とともに肥大(腫大)していく病態が前立腺肥大症です。

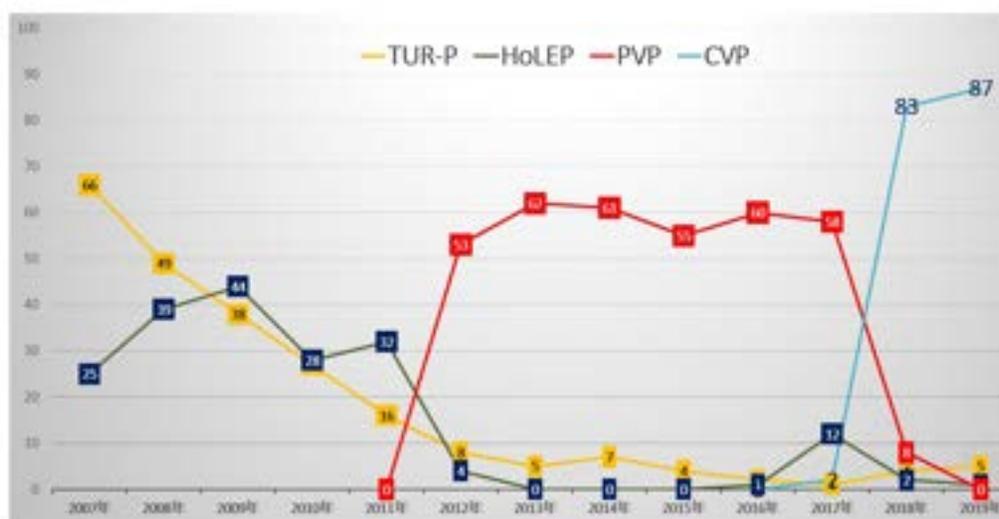
前立腺肥大症(BPH)は50代後半ころから症状が出始め、60代~70代では半数近くの方が何らかの排尿に関する不快感を感じるといわれています。「尿の出が悪い」、「夜頻繁にトイレに行きたくなる」、「排尿後もすっきりしない」といった頻尿と尿勢低下に始まり、「尿がたまっているのに全くでない」という尿閉に至ることもあり、生活に大きな支障をきたすこともあります。

治療にはまず薬物療法(保存的治療)が行なわれるのが一般的です。α1受容体拮抗薬(タムスロシン、ナフトピジル、シロドシンなど)、5α還元酵素阻害剤、植物製剤漢方薬などが使用されますが、薬剤による保存的治療の効果が限定的であり、QOLの向上が見込めない、また膀胱機能腎機能への悪影響が危惧される場合、手術の適応となります。

前立腺肥大症(BPH)に対する手術治療に関しては、高周波電流を用いる切除術(内視鏡を用いて尿道から電気メスを挿入して行なう経尿道的切除術:TURP)が一般的な術式でしたが、最近では特殊なレーザーを応用したより低侵襲な治療法が可能になっています。

当院ではより高いQOLを追求し、2006年よりレーザー治療を導入、HoLEP(経尿道的前立腺レーザー核出術)、PVP(光選択式前立腺レーザー蒸散術)などを行なってきました。現在は術後成績や安全性、経済的効果などを考慮し、CVP(接触式レーザー前立腺蒸散術)がBPH手術において当院の主力となっている術式です。2018年に導入以来年間約80例前後を行っており、250例以上の実績があります。従来手術より低侵襲で、出血や循環器系への負担も少ないため、抗血栓剤が切れない方、心機能に問題を抱えた方、また80代後半か~90代の方など手術が困難と思われた超高齢者も可能な場合があります。痛みも少なく手術直後から排尿の良好な改善が見られ、多くの方に喜んでいただいております。

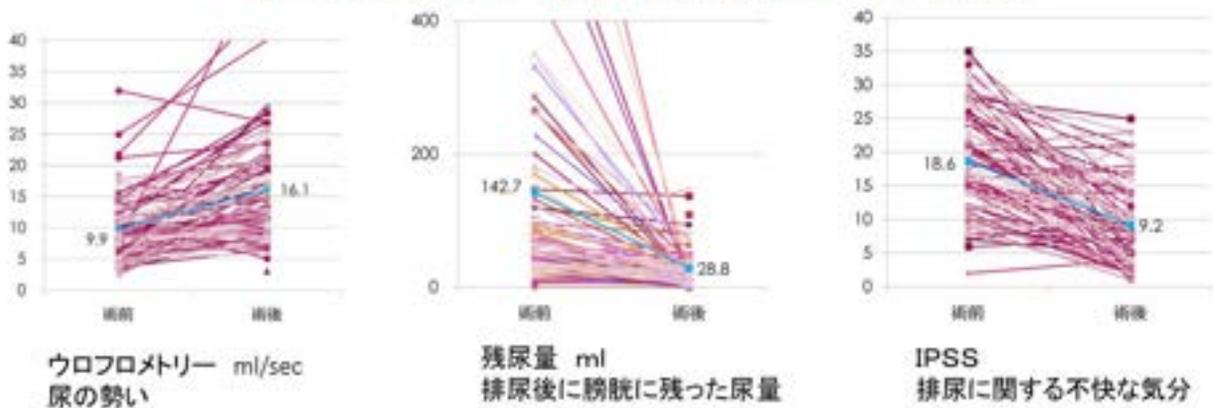
当院における前立腺肥大症手術変遷(2007-2019年)



従来行なわれてきた標準的術式である経尿道的前立腺切除術や他のレーザー治療と比べた場合、CVPは以下に示すいくつかの利点を有します。

1. 術後の尿道カテーテル留置期間が短い(CVP: 1~2日以内)
  2. 入院期間が短い(CVP: 4-6日程度)
  3. 出血が少なく輸血の必要がない(これまで蒸散術での輸血症例は0です。)
  4. 低ナトリウム血症、水中毒の発症リスクがほぼ無い
  5. 術後の尿失禁のリスクも非常に少ない
- (原則術前に前立腺がんの鑑別を行なっておりますが、必要に応じて病理も採取できます。)

### 前立腺肥大症に対する蒸散術直後の成績



術前・術後写真

手術直後の尿です。ほとんど出血がありません。



前立腺肥大症の治療は、まずは薬剤による保存的治療ですが、それでは満足が得られない方も多くおられ、その際に手術は有力な治療法となります。現在ではかなり低侵襲なレーザー蒸散術が確立しており、保険収載もされております。

前立腺肥大症による排尿障害に対し、薬剤からレーザー手術、麻酔が出来ない場合は、尿道ステント留置まですべてが対応できる当院へご相談下さい。



泌尿器科部長

かのう たけひろ  
狩野 武洋

1992年 佐賀医科大学医学部卒業  
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医  
日本泌尿器内視鏡学会  
CVPフォーラム

# 当院の女性泌尿器科の取り組み

泌尿器科医長 谷川 史城

## 1. ボツリヌス療法を行なっています

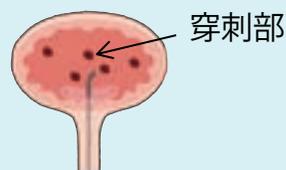
過活動膀胱とは、膀胱が過敏になり、尿が十分に溜まっていなくても、自らの意志とは関係なく、膀胱が収縮する疾患です。尿意切迫感や頻尿、切迫性尿失禁の症状が見られます。

過活動膀胱に対しては、抗コリン剤と交感神経β3 刺激薬のいずれか 1 種類の処方での効果を確認し、効果が見られない場合は、上記 2 種類の薬剤の併用処方を行ないます。

過活動膀胱に対する手術療法はなく、内服による治療が主流でしたが、2018 年に電気刺激による手術 (SNM) が保険適応となり、2020 年にはボツリヌス療法が保険の適応となり、治療の幅が広がりました。

当院では難治性過活動膀胱に対する治療法として、ボツリヌス療法を積極的に行なっています。この手術は、内視鏡で膀胱を直接見ながら、筋肉をゆるめる薬剤 (ボトックス) を、膀胱の筋肉の 20 カ所に直接注射をし、膀胱の異常な収縮を押さえます。麻酔の必要が無い為、侵襲が少ない手術であり、外来での手術も可能です。年に 1 ~ 2 回膀胱に注射をすることで、お薬を服用しなくても症状が出なくなる方が多く報告されています。

過活動膀胱は QOL が著しく低下する疾患ですが、薬物療法・手術療法により治療が可能です。お悩みの方は、当院にご相談下さい。



## 2. 女性泌尿器科疾患の無料電話相談に参加しました

2021 年 7 月 12 ~ 15 日までの 4 日間、骨盤臓器脱の無料電話相談を行ないました。尿漏れ・骨盤臓器脱の元患者さんで構成されるひまわり会が、2005 年から開始したイベントです。大阪を拠点とするひまわり会では、市民公開セミナーや医療機関の医師による無料電話相談を行ない、患者さんへの啓発を目的として活動されています。

2005 年に開始された無料電話相談は年に 2 回行なわれており、2021 年 7 月の相談会には、ひまわり会の活動に協力する全国の 15 の泌尿器科・産婦人科の医療機関が参加されました。

当院は初めての参加でしたが、4 日間で 40 件の相談が寄せられ、女性泌尿器科疾患の治療を担当する当院医師が、患者さんより直接症状を伺い、治療の必要性等のアドバイスを行ないました。

尿漏れ・骨盤臓器脱は、病気の認知度が低いことや、どの診療科が治療を行なうのかがわかりづらいこと、病気に対する羞恥心から、受診につながりづらい疾患です。

治療を行なった患者さんからは、手術後に「もっと早く手術をしておけば良かった」、「孫と旅行に行くことができた」等の感想を頂いています。

今後も電話相談に参加し、患者さんの悩みを伺い治療につなげることで、患者さんの生活の質の向上に貢献できればと考えております。



泌尿器科医長 谷川 史城

2000 年 熊本大学医学部卒業  
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医  
がん治療認定医  
日本泌尿器内視鏡学会  
日本透析医学会  
日本女性骨盤底学会

女性泌尿器科専門の鋤田医師が毎月一週間勤務しています

女性泌尿器科を専攻している鋤田と申します。女性泌尿器科スペシャリストを目指し国内留学に出て早7年目、年間約600例の女性泌尿器科手術を経験してきました。

この度、以前勤務していた熊本泌尿器科病院で女性泌尿器科診療に貢献できる機会を頂き、大変感謝しております。骨盤臓器脱の手術は多岐にわたり（TVM、LSC、NTR等）骨盤底再建外科でもあるため患者さんにあった手術法の選択と精度の高い手術が非常に重要です。また、TVM手術では使用可能なmeshが国産品へ移行し、材質の特性からmeshの切り出しへの工夫が必要で、今まで以上に経験と技術が必要な手術になっています。

これまでの豊富な経験と技術を是非役立てたいと思っています。毎月一週間外来診察に伺っております。ご紹介よろしくお願い申し上げます。なお、日程の詳細については病院におたずねください。



くわたとともこ  
医師 鋤田 知子

第一東和会病院 女性泌尿器科・ウロギネコロジーセンター  
日本泌尿器科学会 専門医・指導医  
日本女性骨盤底医学会会員  
骨盤臓器脱手術学会会員

「新型コロナウイルス」  
感染拡大防止のための当院の取り組み

入館者の検温・手指消毒

患者さん、取引業者、職員等全ての入館者に、入館する前の検温と手指消毒、マスク着用を厳守して頂きます。

発熱外来

発熱や呼吸器症状などがあり、新型コロナ感染症が疑われる患者さんには、一般外来とは隔離された発熱外来診察室で診察を行ないます。

発熱外来診察室にはペパフィルター付きのパーテーション、ビニールカーテンによる隔離など感染症対策を取り、職員も厳重な感染防御をして対応させていただいております。

透析センター感染予防

①患者さん透析前の検温

ご自宅で検温し、発熱者は必要に応じてPCR検査で感染の有無を確認。検査陽性でなくても他の透析患者さんとの接触を避け、個室で透析を行なっています。

また、陰圧室も準備し、コロナに限らず感染症が疑われる透析患者さんの透析を行なっています。

②空気清浄機の設置

当院透析センターは6区画に分かれて透析を行なっていますが、それぞれに換気と空気清浄機により、感染リスクの少ない空気環境の確保を心がけています。

職員の感染予防

院内でのクラスター発生予防のため、「食事しながら会話はしない」「休憩中も会話する時は必ずマスク着用」を徹底すると共に、毎週月曜日に日常生活の中でコロナの感染リスクが高い行動を取っていないか、一週間を振り返りリスクスコアをつけて報告を義務付けています。



# 深夜血液透析

血液透析は週3回、4～5時間を基本として行う治療です。しかし、透析時間が長いほど合併症も起こりにくいとされ、体への負担が少ないと言われています。当院でも5時間以上の「長時間透析」をお勧めしていますが、患者さんによってはお仕事の都合上、長時間透析が難しい方もおられます。そこで当院では2013年5月より「深夜透析」を開始しました。

深夜透析は夜10時から朝6時まで8時間の長時間透析を行います。患者さんが寝ておられる時間を利用した透析療法で、時間を気にせず透析を受けることができます。

「体が軽く感じる、翌日の倦怠感が無くなった」など、患者さんも効果を実感されています。また、深夜透析は就労されている患者さんを対象とし、血液透析によりお仕事に制限が無いように配慮されています。

落ち着いた環境で深夜透析が行えるように、2015年深夜透析に適した透析フロアを増築し、11床のフロアと5つの個室を設けました。通常よりベッドの間隔を広く保つなど患者さんのプライバシーにも配慮しており、2021年8月現在、当院では10名の患者さんが深夜透析を受けておられます。

当院では、「元気で長生き」を目標に透析治療を提供しています。長時間透析は学会等でもその効果が多く発表され、患者さんにとって良い結果が期待できると考えております。

文責:臨床工学科長 下條



## 活動紹介

各部署、委員会、個人での活動をご紹介します

### 事務部 総務課

#### 「日々の業務で得る癒し」

総務課送迎係は、2021.7月末現在、当院透析患者さん総数137名に対し、自宅と病院間の無料送迎を行ない、2020年5月より「歩行者のいる横断歩道で積極的に停車する運動」を展開しています。きっかけは、安全運転管理者講習会での講演でした。

講師より、おもむろに「91.8%」の数字が提示されました。歩行者がいるにも関わらず横断歩道で停車しない車両の割合でした。他ならない熊本県内での調査結果であり、その実態に驚いたことを強く記憶しています。このことを機に、前述の運動を開始しました。

当初は「何を今更？」「時間が勿体ない」等の意見があったのも事実ですが、今となっては全6台の車両がそれぞれ毎日20回程度の回数を横断歩道で停車しています。

この活動は後日JAF（日本自動車連盟）から取材を受け、同連盟ホームページでも掲載・紹介されました。

近年、皆がとても忙しく、ギクシャクとした雰囲気や漂う社会で、歩道上と車内で互いに交わす会釈の交換という、とてもさわやかで穏やかな気持ちになれる場面を得ることができ、日々の我々の大きな癒しとなっています。



## 職員満足度向上委員会

当院では、2018年2月開業60年の節目に、患者さんの満足度を上げるためには、職員の満足度アップが必要であるという考えで、「理念経営実現プロジェクト」を発足させ、理事長を中心に、看護部、技術部、事務部より各2名の役職者で活動を始めました。現在は患者満足度向上(CS)委員会、職員満足度向上(ES)委員会の2つの委員会が活動しています。

ES委員会の最初の取り組みとして、全職員を対象に「ESNavigator II」を使用した職員満足度アンケートを実施しました。職員満足度(ES)とは、職場環境や福利厚生、働きがいなどに対しどれだけ気持ちが満たされているかが測られ、職員が組織(職場)に満足している度合いが表されます。結果は、参加した『職員活



性度ランキング(グループIV)』(対象施設28施設)で第3位でした。

アンケート結果から、改善に取り組む優先度の高いものとして、教育体制の充実・マニュアルの整備・人事評価制度の3つの課題が挙がり、全職員への報告会を行ないました。

また職員から募って編成したワーキングチームにより、マニュアルの整備・賞与時評価見直しを行ないました。また、プロジェクトメンバーによる毎月の職員誕生会の開催・サンクスカード導入等の改善活動を行ないました。アンケートから改善活動まですべてが初めての経験だったため、計画的には進まず、試行錯誤の連続でしたが、職員の様々なご意見を聞かせていただく良い機会になりました。コロナ禍で職場環境も大きく変化しました。

課題に取り組んだ活動の評価のために、3年目の2021年6月に2回目のアンケートを実施致しました。今後もアンケート結果を基に、更なる組織の発展を目指し、改善活動を進めて行く予定です。

## 職員活動

医事課 外来係係長

中尾 文香 (1級フラワー装飾技能士)

私の趣味の、フラワーアレンジメントについてご紹介致します。

一番身近にある生花は、季節で花材が変化し同じ花でも一つ一つ形が違うため思い通りにならず、特徴をどのように活かすかを考えることも楽しみの一つです。夏場は傷みやすく長期間飾ることは出来ませんが、香りや季節感を感じることができます。

プリザーブドフラワーは、生花を一度脱色して加工されたお花です。香りはありませんが、手触りや見た目は生花と同等で、長期間飾ることができ、生花と違った色合いが特徴です。

ソープフラワーは、石鹼で出来たお花で、バスフレグランスともいい、花びらをお風呂に浮かべて楽しむこともできます。素材や見た目は生花と異なりますが、長期間飾ることができ、香りや鮮やかな色合いが特徴です。

リボンアレンジは、針を使わず様々なリボンの形を作ることができます。このリボンアレンジと

アーティフィシャルフラワー(造花)を組み合わせ、リースを作成しています。アーティフィシャルフラワーを、プリザーブドフラワーやソープフラワーに変更することもできます。

生花のアレンジを習い始めた当初は、素材にたくさんの種類があることも知らなかったのですが、生花・プリザーブドフラワー・ソープフラワー・リボンアレンジの資格を取得し、今ではどの組み合わせが良いか、どのようなアレンジができるかなどを考えることも楽しみになっています。

当院に同好会を発足し、院内に作品展示を始めました。来院の際にはぜひご覧ください。



医療法人野尻会  
熊本泌尿器科病院

- 院長 井 秀隆
- 住所 熊本市中央区新町4丁目7番22号
- 連絡先 電話番号：096-354-6781 / FAX 番号：096-355-0231
- 診療科 泌尿器科・泌尿器科(人工透析)・腎臓内科・皮膚科・男性性感染症外科・麻酔科
- 病棟 一般病棟：東病棟 28床・療養病棟：西病棟 24床
- 透析 ベッド数：102床(うち個室5床)・深夜透析・無料送迎あり
- 職員数 238名(常勤・非常勤・パート含む) ※2021年9月1日 現在
- 駐車場 85台

■診療案内

診療科	泌尿器科		腎臓内科		皮膚科	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後
月	○	○				○
火	○	○				
水	○	○	○	○		○
木	○	休診				
金	○	○	○			○
土	○	休診	○			

泌尿器科受付

午前(月~土) 8:00~11:30

午後(月~水) 13:00~16:30 (金) 13:00~18:30

皮膚科受付

午前(月・水・金) 13:00~16:30

腎臓内科受付

午前(水・金・土)

午後(水)

※腎臓内科受診は事前のご予約が必要です。

お願い

24時間以内に発熱があった方は入館前にお申し出ください。  
入館時には、体温測定とマスク着用をお願いします。

■周辺地図



くまひ

熊本泌尿器科病院広報誌「くまひ」  
第2号 2021年10月1日発行

熊本泌尿器科病院 〒860-0004熊本県熊本市中央区新町4-7-22  
TEL:096-354-6781 URL:https://nojirikai.jp

お問い合わせ

熊本泌尿器科病院 広報チーム

E-mail: kouhouteam@nojirikai.jp

